

# なし幸水の目傷処理による優良新しよの確保

## 1 試験のねらい

なし幸水は、短果枝の維持が困難なことから側枝を早く更新する必要があるが、必要な場所に新しよがないことが多い。そこで、本試験では、主枝、垂主枝の必要な場所に新しよを発生させるための技術として、目傷処理による方法を昭和55～57年の3か年検討した。

## 2 試験方法

農試ほ場の幸水(55年度14年生)を供試し、主枝、垂主枝及び側枝基部の潜芽の上部1～2cmの所にノコギリで木質部に達するまで長さ約2cmの目傷を入れた。昭和55年は3月17日、56年は3月26日、57年は3月27日に処理した。55年は潜芽の区別をせず、56年は潜芽の見えるものと見えないものに分け、57年は見えるものについて行った。

調査は、枝周上の潜芽の位置及び目傷を入れた位置の太さ別に、目傷処理によって発生した新しよ数、新しよ長について行った。

## 3 試験結果及び考察

昭和55年から57年までの3年間の目傷処理による新しよの発生状況を表-1に示した。3年間の合計でみると、目傷処理した個所数は718カ所で発芽率が47.5%であり、予備枝として使える20cm以上の新しよが発生した個所数の割合は25.5%であった。

潜芽の状態及び目傷を入れた枝の太さと新しよ発生との関係を表-2に示した。潜芽の見えるものと見えないものとを比較すると、潜芽の見える場合では、発芽率が74.2%であり、見えない場合の44.9%に比べて高かった。見える場合では、20cm以上の新しよが発生した個所数の割合が34.8%で、見えない場合の27.5%より高いことから、潜芽の見える部分に目傷を処理することが良い。目傷を入れた枝の太

表-1 目傷処理による新しよの発生

年次	処 理 個所数	発芽率 %	20cm以上の新しよが 発生した個所数の割合%
55年	478	38.9	25.1
56年	135	59.3	31.1
57年	105	71.4	20.0
計	718	47.5	25.5

さと新しよ発生との関係は、潜芽の見える場合では、目傷を入れた枝の太さが1.1～2.0cmの枝で、20cm以上の新しよの発生した個所数の割合が16.1%、太さ2.1～3.0cmの枝で46.7%、太さ3.1～4.0cmの枝で80.0%になり、目傷を入れた枝の太さが太い方が新しよの発生した割合が高かった。潜芽の見えない場合では、目傷を入れた枝の太さと新しよ発生との間に一定の傾向が認められなかった。

目傷処理した枝周上の潜芽の位置と新しよ発生との関係を表-3に示した。枝の上や横、下などの潜芽の位置による差は認められなかった。したがって、枝の棚づけを考慮すると目傷処理する枝周上の潜芽の位置は、横または、斜め下が良いと考えられる。

なお、昭和56年及び57年に目傷処理によって発芽、展葉はしたが伸長しないものに、植物生育調節剤との併用効果を検討したがBA及びTAG-1Bとも効果は認められなかった。

これらのことから、目傷処理する枝は、太さが約2.0cm以上の枝の潜芽の見える部分で、枝周上の位置が横あるいは斜め下の所に行うのが良いと考えられる。そうすることによって、表-2から枝の太さが2.1~4.0cmの枝で潜芽の見える部分に目傷処理した場合処理個所数が35か所のうち発芽数が23か所で発芽率は65.7%となる。そのうち、予備枝として利用できる20cm以上の新しゅうが発生した個所数は18か所で、その割合は51.4%となる。このことから、目傷処理によって予備枝として利用できる新しゅうの発生する割合は、約50%程度期待できると考えられる。

#### 4 成果の要約

なし幸水を供試して、目傷処理による方法が新しゅうの発生にどのように影響するかを検討した。目傷処理は、3月下旬に枝の太さが概ね2.0cm以上で、潜芽の見える部分にノギリで木質部に達するまで目傷を入れることにより、予備枝として使える20cm以上の新しゅうの発生する割合が約50%程度期待できる。また、目傷処理と植物生育調節剤との併用効果は認められなかった。

(担当者 金子友昭 田中敏夫)

表-2 潜芽の状態及び目傷を入れた枝の太さと新しゅうの発生(昭56年)

潜芽の状態	目傷を入れた枝の太さ cm	処理個所数	発芽数	発芽率%	20cm以上の新しゅうが発生した	
					個所数	同比率%
見えるもの	1.1~2.0	31	26	83.9	5	16.1
	2.1~3.0	30	19	63.3	14	46.7
	3.1~4.0	5	4	80.0	4	80.0
計		66	49	74.2	23	34.8
見えないもの	1.1~2.0	17	7	41.2	1	5.9
	2.1~3.0	41	21	51.2	16	39.0
	3.1~4.0	11	3	27.3	2	18.2
計		69	31	44.9	19	27.5

表-3 目傷を入れた枝周上の潜芽の位置と新しゅうの発生(昭57)

潜芽の位置	処理個所数	20cm以上の新しゅうが発生した	
		個所数	同比率%
上~斜上	15	4	27
横	31	11	35
斜下~下	22	5	23